

お互いさま

otagaisama

恵みあい、助けあう

特集

外国人財

お世話するだけでなく
介護の専門家に育成する

クローズアップ

福祉用具貸与事業所 幸朋苑 (生きいきケアショップ 暖だん倶楽部)

快適な在宅生活を用具からサポート

キラキラ働き人

特定施設入居者生活介護アザレアコート

チン テー マインさん

特別養護老人ホーム新さかい幸朋苑

ラモス ロウェナ リベドさん ランビス マニリン タヤブさん

うきま幸朋苑

山下チャリットさん

2022 October

季刊誌(年4回発行)

NO. 06



社会福祉法人 二うほりえん



外国人財を
お世話するだけでなく
介護の専門家に
育成する

20年以上前から受け入れ

「職員一人ひとりが大切な宝物」。この考えに基づいて、こうほうえんでは職員たちを「人材」ではなく「人財」と呼んでいます。法人全体でさまざまな個性を持った人財が活躍していますが、最近では外国人財の数も増えて、職員やご利用者からその仕事ぶりを高く評価されています。

外国人財の受け入れの歴史は、2000年から7年間にわたり、中国の中日友好病院から研修生としてナースを毎年2名ずつ受け入れたことに始まります。もともとアメリカやヨーロッパに日本人職員が研修で派遣されるなど国際交流が盛んだったこともあり、外国人財を長期で受け入れる土壌があったのかもしれない。

そして、制度が整った2009年には

EPA（経済連携協定）に基づいて、インドネシアとフィリピンから2名ずつ研修生を受け入れ、2019年からはベトナムとフィリピンからの技能実習生の受け入れがスタート。第一期生のベトナム人実習生6名は、今年3月に特定技能へと移行し、翌月にはフィリピンからの特定技能も受け入れられています。

目的で異なる在留資格

外国人が日本に入国、滞在する際に必要となるのが、在留資格です。在留資格にはさまざまな種類がありますが、「技能実習」や「特定技能」も在留資格の種類。両者は混同されがちで、実際に似ている部分もありますが、それぞれの目的に大きな違いがあります。

外国人技能実習制度は2017年にスタートし、発展途上国の外国人が日本で技術を身に付け、母国の発展に寄与することを最終目標にしています。



お話を聞いた人

海外事業室 室長
高須美香さん
看護師、JICA専門家を経て10年前にこうほうえんに入職。自身の海外生活の経験をふまえたサポートを実践。

外国人技能実習生担当責任者
大楽哲久さん
建設業界に長年身を置き、2019年に技能実習生担当責任者として入職。英語、ポルトガル語、スペイン語に堪能。

技能実習制度が育成による国際貢献が目的であるのに対して、2019年にスタートした特定技能制度は、日本国内の深刻な人手不足を補うために、海外の即戦力を受け入れる制度です。特定技能の在留資格は、技能実習を修了して移行するか、特定技能評価試験に合格することで取得できます。

技術、語学、生活をサポート
技能実習生や特定技能を受け入れる際には、さまざまな手続きを行います。が、配属先施設の受け入れ準備や、日本での住まいの用意など、受け入れ態勢を整えることも重要。来日後にスムーズに生活をスタートできるようにサポートも行います。

特に教育面では、介護のプロフェッショナルとして成長し、将来のキャリアアップを形成できるように、資格取得や日本語能力向上のためのサポートに力を入れています。実習指導員をはじめとする職場のスタッフには、シンプルでわかりやすい言葉を使うことをレクチャーし、技能実習がスタートしてからは計画的な指導の実践、業務の振り返り時間の確保

「誠実で、とても良い人が来てくれた」と評価が高く、ご利用者の中には「この人にケアをしてほしい」と希望する人もいます。職員からは「笑顔や挨拶が良く、見習いたい」「ひた向きの姿勢に心打たれる」と、その存在が刺激となり、相乗効果が生まれています。

このため、今後も受け入れを継続するとともに、今いる外国人財が長く働き続けられる環境整備として、実務者研修などのキャリアアップや、「介護」の就労ビザ取得の支援も充実させていきたいと考えています。今こそ外国人財は特別な存在ですが、将来的には各施設に二人配属し、日本人と同じ優秀な人財として、広く認知されることを目指しています。



スタッフ同士の申し送りや報告は日本語で行い、介護記録も日本語で記載しています。



技能実習生には実習指導員が付くほか、他の日本人職員も日頃からフォローしています。



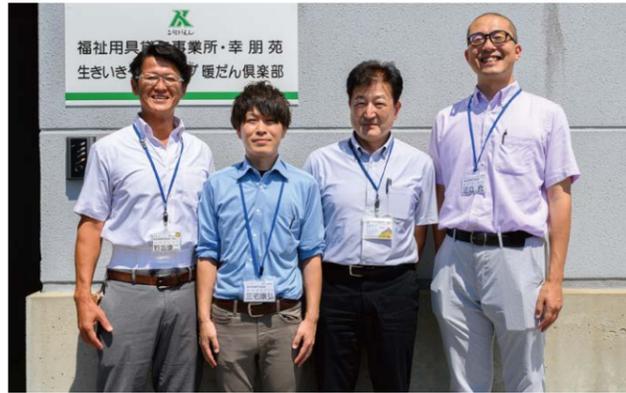
ご利用者には丁寧な言葉使いを心がけ、日々体調を確認しながらケアしています。



優しい笑顔や誠実さ、ひた向きの姿勢がご利用者やご家族からも好評です。



第11回オールジャパンケアコンテストで特別賞を受賞したチン テー マインさん(左)。



「暖だん倶楽部」の職員。ご利用者の身体状況に適した用具の選定や住宅改修の提案を行っています。



<1F:消毒・メンテナンス室>
回収された福祉用具は消毒へ。大型の用具は分解して、細部まで消毒しています。機械や手作業で丁寧に洗浄・消毒して、小さなゴミやほこりまで除去します。



<2F:倉庫>
マットレスや歩行器など福祉用具は種類別に保管されています。



次のご利用者が安全・清潔にお使いいただけるように、消毒と合わせて点検も行います。



快適な在宅生活を
用具からサポート

施設紹介

福祉用具貸与事業所 幸朋苑
(生きいきケアショップ 暖だん倶楽部)

- 住所 鳥取県米子市夜見町3081-11
- 電話 0859-30-3365
- 営業時間 8時30分～17時30分
- 年中無休



専門知識を生かした
サービスを提供

米子市夜見町の国道431号線沿いにある「福祉用具貸与事業所 幸朋苑(生きいきケアショップ 暖だん倶楽部)」は、介護保険の対象となる、①車いすや手すりなどの福祉用具13品目のレンタル、②住宅改修、③ポータブルトイレなどの特定福祉用具の販売を主な業務としています。

福祉用具のレンタルの流れは、まず、ご利用者が病院を退院して在宅療養

求められるスピード感

「暖だん倶楽部」のご利用者の数は、介護保険利用者が約9000件、自費利用者も含めると10000件以上にもなります。相談員たちは勤務時間の多くを事業所の外で過ごし、担当するエリアの相談や納品、フォローや営業活動に回り、ご利用者やケアマネジャーらと信頼関係を築いています。「福祉用具のことでだけでなく、住環境や介護保険の使い方の相談も多いです。アドバイスをしたり、工務店や地域包括支援センターなどを紹介してパイプ役を務めたりすることもあります」と、福祉用具の相談を入り口として、ご利用者のさまざまな困りごとをサポートしています。

また、相談員たちが業務で大切にしているのが時間の管理です。ケアマネジャーやご利用者に時間を伝える際には、タイムロスが生じないように「すぐ」「お昼頃」などのあいまいな言葉ではなく、「〇日の〇時に伺います」と日時を明確に伝えることを事業所内で注意喚起しています。

「最近はい入院期間が短い傾向があり、スピード感が求められています。またケアマネジャーやご利用者家族には仕事もありますから、あいまいでは困

お話を聞いた人



福祉用具貸与事業所 幸朋苑管理者 **野坂康二** さん
こうほうえんに入職して26年。介護福祉士として10年以上のキャリアを持つ。趣味はサーフィン、アイスホッケー、バスケットボール、釣り、サイクリングなど。

に移行する際、ケアマネジャーや地域包括支援センターの相談員から福祉用具貸与事業所に連絡が入ります。連絡を受けた事業所は福祉用具専門相談員をご利用者のお宅に派遣し、その方の希望や心身の状況、生活環境などをふまえて適切な福祉用具を選定。書類の作成や説明、契約を経て納品され、アフターフォローも行います。「暖だん倶楽部」には相談員9人、事務職2人、倉庫での点検作業員1人が働いています。が、相談員のうち6人は介護福祉士の資格を持つ介護現場の経験者。

相談員の野坂さんは「多くの介護福祉施設を持つ社会福祉法人ならではの特色。介護の専門的な知識と経験を生かした提案やサポートができることが強みです」と、力強く話します。

「暖だん倶楽部」はもとも米子市内の商業施設の中にあり、2年前に現在の場所に移転しました。その際、これまで委託していた消毒機能を内包化して、よりスピーディーな対応ができる環境を整備。「ご利用者により良い環境で過ごしていただくために、一秒でも早く動く必要があります。私たちの仕事は丁寧で早いのが大前提なんです」と、野坂さんは心構えを話します。さらに、現在は相談員が行っていた計画書等の書類作成業務を事務職に割り当てて分業化し、業務の効率化を目指しています。「事務職員は相談員資格をもった経験者なので安心。これで相談員は一人でも多くの方のサポートができます」と意気込みます。

また社会福祉法人が運営する事業所として、地域に貢献することは重要な使命であり、野坂さんたちは地域に開かれた事業所としてのあり方を常に探っています。「公的な支援からこぼれてしまうような、地域の方の小さな困ったに対応できる事業所でありたいです」と、門戸を開き、地域の人からの気軽な相談を歓迎しています。



プロフィール



北東京エリア うきま幸朋苑

山下チャリットさん

介護福祉士歴15年。2019年にうきま幸朋苑に入職し、ユニットリーダーを務める。後輩の技能実習生も公私でサポートする。永住者。



プロフィール



特定施設入居者生活介護アザレアコート

チン テー マインさん

2019年、ベトナムから技能実習生として来日。3年間の技能実習を経て、今年、特定技能に移行。笑顔とさりげない気遣いをご利用者から好評を得ている。



プロフィール



特別養護老人ホーム新さかい幸朋苑

ランビス マニリン タヤブさん

ラモスさんとは12歳から同じフィリピンの学校で寮生活を送った友人同士。新さかい幸朋苑では「リンちゃん」の愛称で呼ばれている。



特別養護老人ホーム新さかい幸朋苑

ラモス ロウェナ リベドさん

フィリピンで同じ学校の寮生だったランビスさんと技能実習生として来日。ご利用者からは「ラモスちゃん」の愛称で呼ばれている。

心細さを知っているから
日本のお母さんとして
支援したいです。

介護も日本語も
上達を感じる
毎日が楽しいです。

この仕事が好きだから、
お互いに支え合い成長しています。

子どもの一言で勉強に目覚める
30年ほど前にフィリピンから来日し、最初は日本語もできず、介護士でもありませんでした。転職になったのは「お母さん、何でも日本語がわからないの」という子どもの一言。一念発起して日本語の専門学校に入り、その後、介護の専門学校へ進学。私はおじいちゃん、おばあちゃん子で、自分の祖父母の面倒を見ることのできない分、恩返しをしたいという思いからでした。長年、老人保健施設で働き、「うきま幸朋苑」には2019年に入職。現在はユニットリーダーとしてスタッフを束ねています。

技能実習生から特定技能へ
介護の仕事に興味を持ったのは、ベトナムの大学時代です。介護施設での体験学習で高齢者の方とのふれ合いが好きになり、21歳で技能実習生として、こほうえんに採用されました。最初は介護の知識も技術もなく、先輩に教えてもらいながら覚えていきましたが、技術が身に付いていくのが楽しかったです。語学の面では、介護の専門用語を覚えるのに苦労しましたが、先輩に教えてもらったり、技能実習生仲間と勉強したりして、今年も特定技能にも移行できました。さまざまな業務を一人で

ご利用者は認知症の方や耳が遠い方が多いので、明るく笑顔で、耳元で語りかけるとともに、年上の方たちへの丁寧な言葉使いも心がけています。大変なこともあります。介護士だけでなくさまざまな職員みんなと相談や連携ができますし、何よりご利用者の「ありがとう」の言葉が、前向きな気持ちにしてくれます。また、職場のフィリピンの技能実習生と留学生の公私にわたる相談にも乗っています。心細さや日本語の難しさはよくわかるので、日本のお母さんの存在として、今後もサポートしたいです。

きることに、やりがいを感じています。ご利用者とお話をする時は、わかりやすい言葉を心がけ、言葉が通じた時はすこくうれいす。また介助の際に事故やケガのないように、手順を守り、あせらず丁寧に介助することも大切にしていきます。昨年は「オールジャパンケアコンテスト」に初めて参加して、食事部門で特別賞を受賞することができました。今後機会があればまたぜひ参加したいです。介護は介護福祉士とご利用者、そしてご家族や地域の人の協力で成り立つものなので、今後はその輪を広げたいです。

敬う心で笑顔のケアを
もともと高齢者のケアに興味があり、日本語の勉強もしたくて、ラモスさんと一緒に技能実習生として昨年来日しました。「新さかい幸朋苑」で技能実習が始まったばかりの頃は、とても緊張していたのですが、先輩たちが丁寧に教えてくれて、みんなから「リンちゃん」と呼んでもらい、すぐに職場になじむことができました。今は食事や入浴の介助など、いろいろなことを任せてもらっています。でも日本語は、ひらがな、カタカナ、漢字と3種類ある上に、介護の専門用

語は難しいので勉強は大変。ラモスさんと励まし合ったり、息抜きをしたりして一緒にがんばっています。ご利用者と接する時には笑顔が心がけ、人生の先輩に対する丁寧な言葉使いも意識しています。また、ご利用者のリスクや体調などの確認も大事なので、意識しているポイントです。介護の技術を学び、実際に現場で働いてみて思うことは、この仕事が好きだということ。日々やりがいを感じているので、介護の知識・技術や日本語をもっとたくさん勉強して、磨いていきたいです。

ご利用者の笑顔が喜び
介護の仕事が好きなこと、両親がこれから高齢になった時に介護技術が役立つのではないかと思ひ、介護士を目指すようになりました。日本は教えることが上手なので、2021年に技能実習生として境港にやってきて、「新さかい幸朋苑」で働いています。1年目は指導係の先輩に教えてもらいながら、介護の技術を学び、今は「通りのこと」ができるようになっていきます。でも日本語の勉強は本当に難しいです。日常生活以外にも、介護の専門用語も覚える必要があります。まだまだ勉強が必要です。

フィリピンでは大家族の中で育ち、12歳から寮生活を送っていたので、周りに人がいることが当たり前でした。日本に来て、初めての一人暮らしの中でランビスさんの存在は心強く、一人ではこんなに頑張れなかったかもしれない。ご利用者からは「ラモスちゃん」と呼んでもらい、笑顔を見せてもらえると、私もうれしくなって自然と笑顔になります。正しいケアをすれば、ご利用者は明るい気持ちになるので、介護のことも、言葉ももっと勉強して成長したいです。



鳥取県災害派遣福祉チーム
(鳥取県DWAT)について



東京都災害福祉広域支援
ネットワーク(QRコード)

「DWAT(鳥取県災害派遣福祉チーム)」に職員11名登録

この度「こうほうえん」から11名の職員が、令和4年度「DWAT」登録者名簿に登録されました。(7/1付)「DWAT」とは、災害時に鳥取県からの要請により被災地に派遣され、高齢者や障がい者などの配慮を要する方(以下「要配慮者」)のニーズを聞き取り、応急的な生活環境の整備や関係機関への受け入れをコーディネートするなど、要配慮者及び要配慮者の家族等支援者に必要な支援を行うチームのことをいいます。

「DWAT」のメンバーは、介護福祉士や社会福祉士、介護支援専門員等の福祉専門職で構成されています。

〈登録メンバー〉

- 岩本 親海 介護士(介護老人福祉施設にしまち幸朋苑)
- 奥田 正彦 施設長(デイサービスセンター鳥取北)
- 平尾 由希 主任相談員(介護老人福祉施設新いなば幸朋苑)
- 原田 篤 主任相談員(介護老人福祉施設さかい幸朋苑)
- 水口 賢吾 主任介護士(介護老人福祉施設さかい幸朋苑)
- 池淵 美香 介護係長(介護老人福祉施設新さかい幸朋苑)
- 野口 真 主任相談員(介護老人保健施設なんぶ幸朋苑)
- 篠原 悠也 相談員(介護老人福祉施設なんぶ幸朋苑)
- 遠藤 智史 保育教諭(認定こども園キッズタウンさくら)
- 上田 紀行 介護主任(特定施設生活介護アザレアコートこうほうえん)
- 松本 来 保育士(キッズタウン第2保育園)

メンバーを代表して水口賢吾主任介護士(さかい老健)にコメントをいただきました。



水口賢吾主任介護士
(さかい老健)

災害派遣福祉チームの一員として…大規模な災害が起こった際には、日常の仕事で培った福祉の知識や技術といった経験を活かして、避難所等において福祉的な視点から支援を行い、災害関連死などの二次被害を防止し、要配慮者が安定的な日常生活への移行できるように支援していきたいと思えます。また、被災地では一刻一刻と状況が変化中、要配慮者のニーズに沿った支援活動を行う必要があるため、どのような状況においても適切な対応ができるように、今後も研修への参加を続けてスキルや知識の向上に努めていきたいと思えます。

寄附者 一覧

※令和4年6月～8月にご寄付をいただいた皆さま

心温まるご寄付を賜り、深くお礼申し上げます。皆様から賜ったご寄付は、ご厚志に沿い「地域貢献事業」として使わせていただいております。

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-------------------------------------|
| ●佐々木元教様 / 100,000円 | ●本城硝子建材商事株式会社様 / 10,000円 | ●株式会社さんれいフーズ様 / 30,000円 | <北東京エリア> |
| ●有限会社パイフレンド様 / 100,000円 | ●石水正奉様 / 43,000円 | ●美保テクノス株式会社様 / 100,000円 | ●相内様(在園児) / 乳児用玩具 |
| ●有限会社ワイビーエム様 / 200,000円 | ●株式会社金田工務店様 / 30,000円 | ●石田和弘様 / 70,000円 | ●長谷川様(地域) / バスタオル、雑巾 |
| ●株式会社D・I・P様 / 108,000円 | ●まほろば税理士法人様 / 50,000円 | ●有限会社不動産情報マイホーム様 / 10,000円 | ●岡田様(在園児) / 絵本、乳児用玩具
(楽器、音の出る玩具) |
| ●井上モータース様 / 30,000円 | ●尾家産業株式会社米子営業所様 / 10,000円 | ●山陰酸素工業株式会社様 / 30,000円 | ●杉山様(レオック) / タオル、手ぬぐい |
| ●有限会社米子報知器様 / 10,000円 | ●三島産業有限会社様 / 100,000円 | ●株式会社トーカイ中国支店様 / 50,000円 | ●守屋理恵子様(ご利用者ご家族様) / テーブル |
| ●フクダコーディングサービス様 / 100,000円 | ●株式会社山陰合同銀行米子西支店様 / 10,000円 | ほか5件 | |
| ●インテリアセオ様 / 100,000円 | ●三和商事株式会社様 / 50,000円 | 寄付金合計額: 1,536,000円 | |

ボランティア 一覧

※令和4年6月～8月にボランティアにご参加いただいた皆さま

貴重な時間をいただき、厚くお礼申し上げます。

<よなごエリア>

- 草取り作業…2名(米子市ボランティアセンターより)
- 利用者との関わり、清掃等(ボランティア体験事業)…米子西高校2名、米子北斗高校7名、米子高校4名、境高校1名

<なんぶエリア>

- 軽作業、傾聴…藤山朝子様 ●地域カフェ手伝い…仲田みどり様、柴田千恵様、斉木正枝様、勝部尚子様、足羽恵美子様、佐藤陽子様、石田喜和子様、斉木ルミ子様、尾原稔枝様、梅木恭美様、西山尚子様 ●交流活動手伝い…石田喜和子様、柴田千恵様、梅木恭美様、仲田みどり様、斉木ルミ子様、斉木正枝様 ●読み語り…秋鹿文子様

<北東京エリア>

- 保育体験・保育準備など…ボランティアプラザ経由(成立学園高等学校様) ●傾聴、軽作業…3名 ●コミュニケーション…1名 ●保育補助…43名(いたばし総合ボランティアセンターより)

<南東京エリア>

- 保育ボランティア…東京女子大学1名、三輪田学園1名、目黒星美学園1名、実践女子学園1名、十文字高等学園1名、品川女子学園1名、トキワ松学園1名、文京大学付属高等学校1名、青陵学園1名、荏原第5中学校3名、第5砂町小学校1名 ●出張おはなし会深川図書館…12名 ●食事会のキッチンカーによる食事提供…クックデリ(株)4名 ●食事会手伝い(天ぶら料理提供)…クックデリ(株)2名 ●夏祭り…クックデリ(株)2名 ●お菓子作り教室…中村クッキング1名

<西東京エリア>



法人本部事務局

〒683-0853
鳥取県米子市両三柳1400
TEL:0859-24-3111 FAX:0859-24-3113
フリーダイヤル:0120-418-658
E-mail:welfare@kohoen.jp

東京事業本部

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場4-3-7KSビル203号室
TEL:03-3365-1331 FAX:03-3365-1339



2014年度日本経営品質賞大規模部門
(鳥取地区/介護)受賞



こうほうえんはISO9001-2015
(品質マネジメントシステムの国際規格)を
認証取得しています



こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
おもてなし経営企業に選定されました



こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
ハイサービス日本300選に選定されました

詳しくはHPへ



こうほうえん 検索
<https://www.kohoen.jp>